

カーボンナノチューブ複合樹脂 Hipersite Wシリーズ

特徴

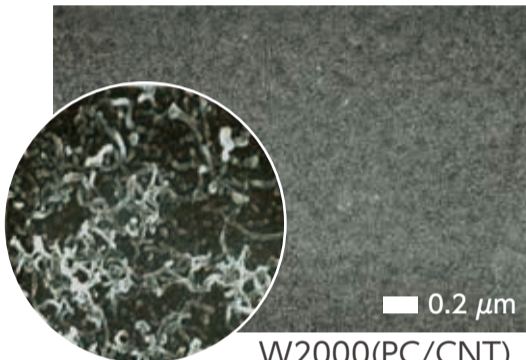
CNT(カーボンナノチューブ)を分散した、高性能な静電気対策樹脂材料です。

- 従来の導電樹脂材料に比べて①静電気防止性に優れる ②発塵が少ない ③成形性や靱性に優れる(樹脂本来の特性を損ないにくい)などの優れた特徴があります。
- 1999年に世界で初めて磁気ヘッドトレイとして実用化して以来、電子部品トレイ、HDDパーツのほか、プリンタ、ATM、アミューズメント関連など、様々な分野で使用されています。
- PC, ABS, HIPS, PEI, PEEKなど、各種のグレードを揃え、お客様のニーズにお応えします。

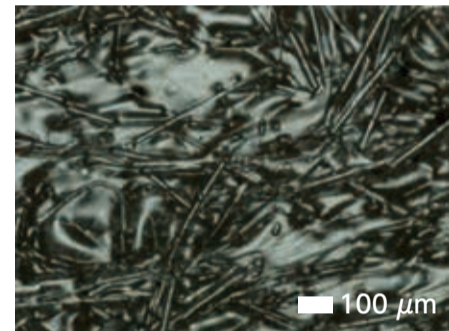
Hipersite Wシリーズ実用例



成形品の表面状態

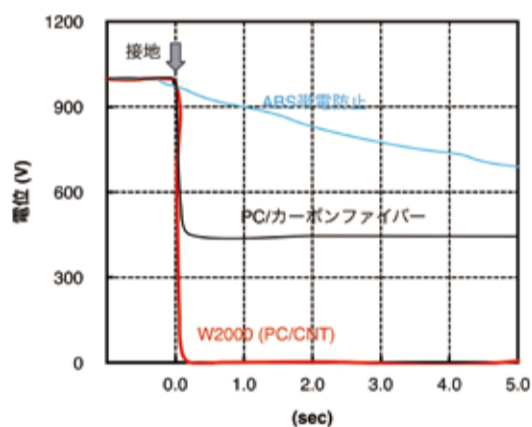


表面直下のCNT分散



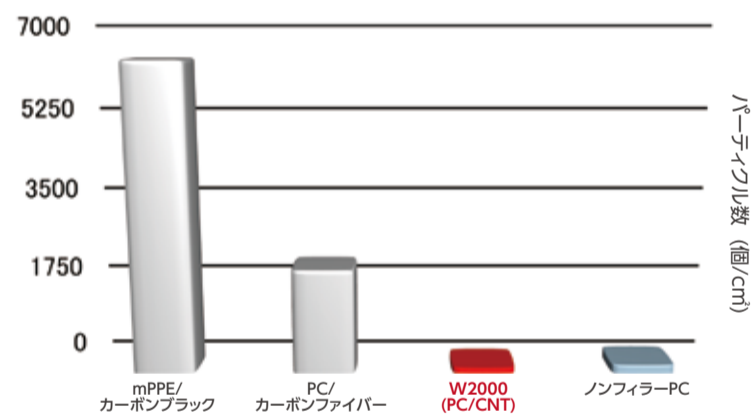
PC/カーボンファイバー

優れた特性



*CPM上で1000Vを印加したサンプルに接地プローブを接触させた際の電位減衰。

帯電を瞬時に完全に除電します



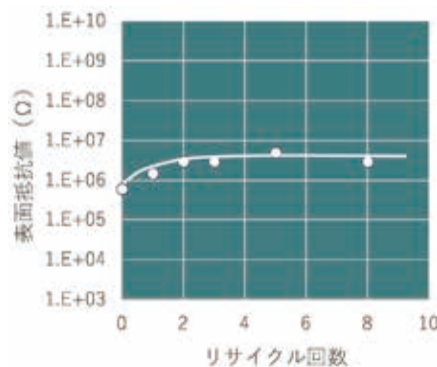
*CPM上で1000Vを印加したサンプルに接地プローブを接触させた際の電位減衰。

パーティクルの脱落はほとんどありません

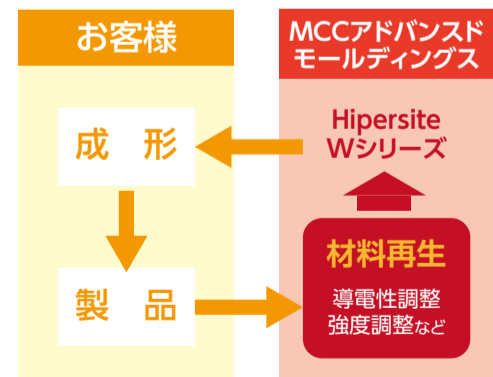
リサイクル性 カーボンニュートラルへの貢献

- ハイパーサイトWシリーズは、従来の導電材料に比べてマテリアルリサイクルによる導電性の悪化が少ないため、ランナー等の廃棄量を低減できます。(ただし、過度のリサイクルは樹脂劣化による物性低下が生じる可能性があります。)
- 不要になった製品を回収させていただき、弊社で適切に再生することも可能です。

リサイクルにおける表面抵抗値変化の一例



材料: W2000(PC/CNT) リサイクル率 30% (抵抗値の変化は、成形条件等により変化します)



MCC アドバンスドモルディング株式会社

巴工業株式会社

商品の詳細はこちら

